3 地域資源

地区の中に実渕川と黒沢川の二つの河川が流れ、堰や湧き水も多くあります。これらをどう保全し、どう活用、維持管理していくか考えなければなりません。

深山でとれる農産物は、米、豆、ぶどう、さくらんぼ、ホップ、あけび、牛乳など各種にわたります。付加価値を付けた販売など所得につなげていかなければなりません。また、山菜やきのこなど山の幸も大きな魅力です。

9 深山の向かうべき姿

もう少し先の将来的な方向性について、**7つのキーワード**で示しています。

1 水を守り活かしていきます

- 生き物が住みやすい環境を守る
- 自然に配慮した河川や水路の整備
- 実渕川のビューポイント整備
- 安心して川遊びができる川づくり
- 湧き水や井戸の整備

2 深山らしいのどかな風景を創ります

- 景観の良い所に展望台や遊歩道を整備
- 杉の木を落葉樹に植え替える
- 看板の見直しと整備
- 和紙センター前の水車の復元
- 景観に配慮した電柱やごみ収集所の整備
- 壊れた空き家をなくす
- 深山の「木」・「花」を決めて植栽

3 話し合い・認め合える地域をつくります

- 全地区民が協力しあう地域づくり
- 趣味・特技などを通じ年代を超えた交流
- 地域ぐるみで結婚や子育て、後継者育成を支援
- 組織や事業を見直し、効率的な活動
- 「深山講」を定期的に開催し課題を共有

4 深山の歴史を将来に伝えていきます

- 深山観音堂を地区挙げて守る
- 深山観音堂周辺の環境を整備
- 大門の道路や水路を参道らしく整備
- 石仏や草木塔を保存
- 深山の歴史をまとめ伝える

5 深山の文化を守り大切にします

- 深山和紙の伝承
- 深山焼を守る
- 祭礼や伝統行事の伝承
- 郷土料理や手打ちそばの伝承
- 地元産の農産物や山菜などの確保・活用

6 いきいきした深山を創造します

- 体験やオーナー制度などで農業振興
- のどか村の体制や周辺環境を整備し誘客促進
- 鉱泉の調査、温泉掘削・利用の検討
- 冬季のイベントなど年間を通じた交流促進
- 深山観音堂を活用した新たな取り組みの研究
- 気軽に活動ができる体制づくり
- 動植物とふれあう場の創設

7 暮らしやすい深山にします

- 安心してゆったりできる「自然公園」の整備
- 運転できない人の交通手段を確保
- インターネット環境を整備し情報の収集・発信
- 保安活動を推進し安心できる地域づくり
- 空き家を活用し定住促進